

施策番号	442	施策名	防災対策の推進	令和4年度主管課名	くらし安全課
総合計画 体系	政策名	4	快適な生活環境の里づくり	令和4年度課長名	松本 博巳
	関係課名	総務課	総合福祉課	建設課	シート作成者
					近藤 亮

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	7年度
ア 町民	→	ア	人口	人	見込値			11,800	11,627	11,280
						実績値	12,625	12,497	12,469	
イ 自主防災組織	→	イ	自主防災組織数	組織	見込値			80	80	80
						実績値	75	75	75	
ウ	→	ウ			見込値					
						実績値				
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	7年度
ア 迅速的確に救助・救護される	→	ア	自主防災組織組織率	%	目標値	90	84.4	85.8	87.2	90
					実績値	84.1	86.8	86.8		
					達成率	93.4%	102.8%	101.2%	99.5%	96.4%
イ 災害から生命、財産を守る	→	イ	日頃から防災の備えをしている町民の割合	%	目標値	80.0	50.0	55.0	60.0	70.0
					実績値	44.1	44.4	48.8		
					達成率	55.1%	88.8%	88.7%	81.3%	69.7%
ウ 自主防災意識を高める	→	ウ	災害時における必要備蓄食料の目標備蓄量の割合	%	目標値		95.0	100.0	100.0	100.0
					実績値	95.9	94.3	100.0		
					達成率		99.3%	100.0%	100.0%	100.0%
エ	→	エ			目標値					
					実績値					
					達成率					
⑤ 成果指標 設定の考え方	防災施策の意図は、町民の身体、生命及び財産を守ることであることから、迅速に避難、救助するための自主防災組織の組織率、自らの防災に対する備え、必要な備蓄食料の備蓄割合とした。			⑥ 成果指標の 把握方法と 算定式等	ア、ウ：くらし安全課調査 イ：住民意識調査 自主防災組織の組織率：組織参加世帯数÷町内全世帯数 備蓄割合：南海トラフを想定した県策定数値に対する割合					

2. 施策の役割分担

	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
施策成果向上 に向けた 住民と行政との 役割分担	<p>○町民は、自己の身体、生命及び財産を守るため、自主防災への取組を行います。</p> <p>○地域は、地域の防災体制を構築するとともに、地域内の要配慮者を把握し、災害時に避難支援を行います。</p>	<p>○必要な施設、設備、資機材の整備を進めるとともに、消防団員の確保に努めます。</p> <p>○町民の防災に関する意識の啓発や自主防災組織に対する支援を行います。</p> <p>○災害発生時における災害情報の提供と災害復旧に迅速に対応します。</p>

3. 評価結果

4年度 の 評価結果	1. 施策の成果水準とその背景・要因	
	① 施策の目標達成度(目標値を達成したか、未達成か? その要因は?)	
	<p>ア 目標値を達成した。引き続き組織率の向上を目指す。地域の高齢化等により設立困難な地域もあり、組織の枠組みを変えるなどの取組が必要である。</p> <p>イ 目標値を下回った。90歳以上は100%、80歳代は54.8%、50歳代は38.5%など年齢層でのバラツキや富地域65%、久泉地域66%、小田地域37%など地域によるバラつきもある。住民の更なる意識改革が必要である。</p> <p>ウ 目標どおりの備蓄量を達成した。</p>	<input type="checkbox"/> 目標値を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値を下回る
	② 成果指標の時系列比較(成果は向上したか? 低下したか? 要因は?)	
	<p>ア 自主防災組織率は前年度と同様であった。この指標は(組織参加世帯数÷町内全世帯数)により世帯数ベースで算定しており、令和4年度は、自主防災組織の実組織数は変わっていない。</p> <p>イ 実績値は4.4ポイント増加した。令和3年度比較して、備えをまったくしていない方が1.1ポイント増加したものの、十分している方が0.4ポイント、ある程度している方が4.0ポイント増加しており、全くしていない方を上回った。</p> <p>ウ 町の備蓄品は毎年購入しており、県の目標数値以上の備蓄となった。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input type="checkbox"/> 低下した
	③ 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)	
	<p>・町内全域への光ファイバー敷設による屋内告知器、屋外拡声器を活用した情報伝達に加え、有線テレビによる文字放送、テロップ表示による情報伝達やスマートフォン等のメール機能、ラインアプリを使用している情報伝達などを行っている。また、防災拠点となる施設や気象観測局、河川監視カメラも他町村と比較し、台数面でも充実した防災設備を整えているものとする。</p> <p>・自主防災組織の組織率は、算出方法が異なるため一概には比較できないが、岡山県内で最も低い浅口市は46.8%、美作県民局管内では真庭市81.2%、美作市82.3%などとなっている。県内市町村平均は87.9%となっており、ほぼ同水準と考える。一部地域では高齢化が進み、組織で行う防災活動が困難な状況もあり、自主防災組織の単位を変更するなど、継続した検討が必要である。</p>	<input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
	2. 施策を取り巻く環境変化(対象の変化、国県の動向、法改正等)と住民からの意見・要望など	
	<p>・平成30年7月豪雨を踏まえ、住民は「自らの命は自らが守る」意識を持って自らの判断で避難行動をとり、地域は自主防災組織等により、いかに備えるかが課題となっている。また、近年想定外の災害が各地で発生しており、自主防災組織の役割は今後一層増大することが予想され、行政はそれらを全力で支援することとなった。</p> <p>・令和5年1月末の大雪では、除雪作業が間に合わず、通学や出勤が出来ないなど大きな混乱を引き起こした。自主防災組織等による自助・共助の助け合いが一層重要と思われた。</p> <p>・避難所運営マニュアルや要配慮者避難支援マニュアルなどの策定の段階から女性を起用するなど、もっと女性からの意見を反映させた避難所運営、備蓄品調達が進められるようになった。</p>	
	3. 施策の振り返りと総括 (4年度の事務事業や取組の成果は? うまくいかなかった取組・問題点と原因は?)	
① 施策の成果向上につながった主な事務事業	自主防災組織活動支援事業費ほか	
② 施策の成果向上のため改善を要する主な事務事業	鏡野町既成宅地土砂災害防止等施設設置事業補助金	
③ 施策全体の振り返りと総括		
<p>・防災体制の強化を図るべく、食料品等の備蓄を行い、岡山県地域防災計画に掲載された「目標備蓄量」を達成することができた。また、くらし安全課に防災士の資格を持った職員を配置し、災害対応の強化を図った。</p> <p>・自主防災組織の組織拡大・強化を図るべく、自主防災組織に対し、訓練等を実施するにあたり防災活動支援事業補助を行い、防災資機材等の購入時には防災資機材整備事業補助を行った。</p> <p>・防災意識の醸成を図るべく、「イザ! カエルキャラバン in かがみの」を開催し、子供から大人まで楽しみながら防災の知識を学べる防災イベントを実施した。また、「産業まつり」に出店し防災備蓄品の試食等を行い、防災意識の向上を図った。</p> <p>・防災士資格取得は前年度に引き続き申込みがなく、制度の積極的なPRが不足していた。</p>		
4. 施策の今後の課題と改革改善の方向(今後、新たに取り組むべきこと、さらに力をいれる必要があることは?)		
① 今後施策の成果向上につなげる主な事務事業	防災イベント開催事業	
② 施策全体の今後の課題と改革改善の方向		
<p>・防災イベントや自主防災リーダー研修会等を開催し、防災意識の向上や自主防災組織率の向上を図る。</p> <p>・防災士資格取得補助金制度を利用して、地域社会の様々な場で、減災及び地域防災力向上のため、防災士を増やす。</p> <p>・避難行動要支援者(高齢者や障害のある方など)の避難を支援するための個別避難計画が総合福祉課で策定されているが、その策定にあたり防災の視点から連携し支援を行う。</p> <p>・災害が発生した時に外部からの応援を迅速、的確に受入れて対応するための受援計画を令和5年度末までには策定し、受援体制を構築していく。</p> <p>・自主防災組織について、地域の高齢化等により設立困難な地域もあり、組織の枠組みを変えるなどの取組が必要である。</p>		